

# 第3号議案

## 道路改築事業

あがつまひがし  
国道145号 吾妻東バイパス

あがつま ひがしあがつま あつだ うえくり  
東吾妻町厚田～植栗

着工年度  
評価理由

平成25年度  
採択後5年経過

### 1. 事業の目的

国道145号吾妻東バイパスは、「上信自動車道」の一部として、吾妻地域から関越自動車道等へのアクセス向上により、観光誘客や物流の効率化による地域経済の活性化や医療施設への搬送時間の短縮等を図るために事業実施するものである。  
また、ハッ場ダム周辺地域の生活再建にとっても欠かせない道路となっている。

#### 【上信自動車道全体の効果】

医療施設への搬送時間の短縮

吾妻地域から群馬県の総合周産期母子医療施設への1時間圏域人口が約9千人増加

【約24千人 約33千人】

関越自動車道へのアクセス向上

関越自動車道 渋川伊香保ICから草津温泉へのアクセス時間が約30分短縮

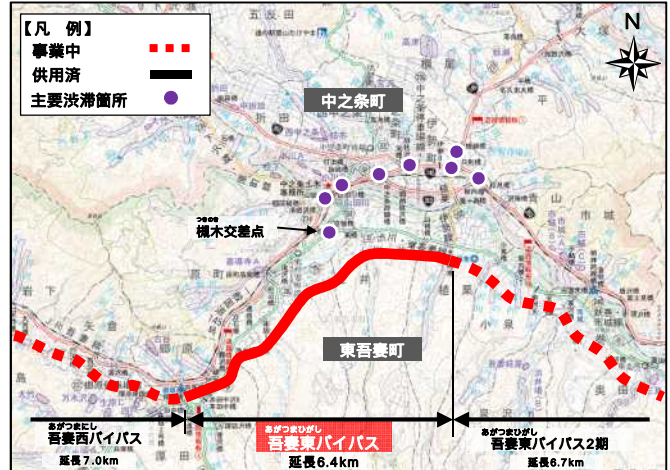
【約90分 約60分】

ハッ場ダム周辺地域の生活再建を支援

#### 【上信自動車道 吾妻東バイパスの効果】

(主)渋川東吾妻線の渋滞緩和

槻木交差点 渋滞長350m 解消



### 2. 事業概要と進捗状況

#### 事業概要

事業場所	あがつまぐん ひがしあがつままち あつだ ひがしあがつま うえくり 吾妻郡東吾妻町厚田～東吾妻町植栗	
区分	事業当初(H24)	今回再評価時
全体事業費	9,600百万円	9,600百万円
全体事業費増減の理由		
事業期間	H25～H33	H25～H36
事業内容	道路延長 6,400m 幅員 10.5m	道路延長 6,400m 幅員 10.5m

#### 事業経緯

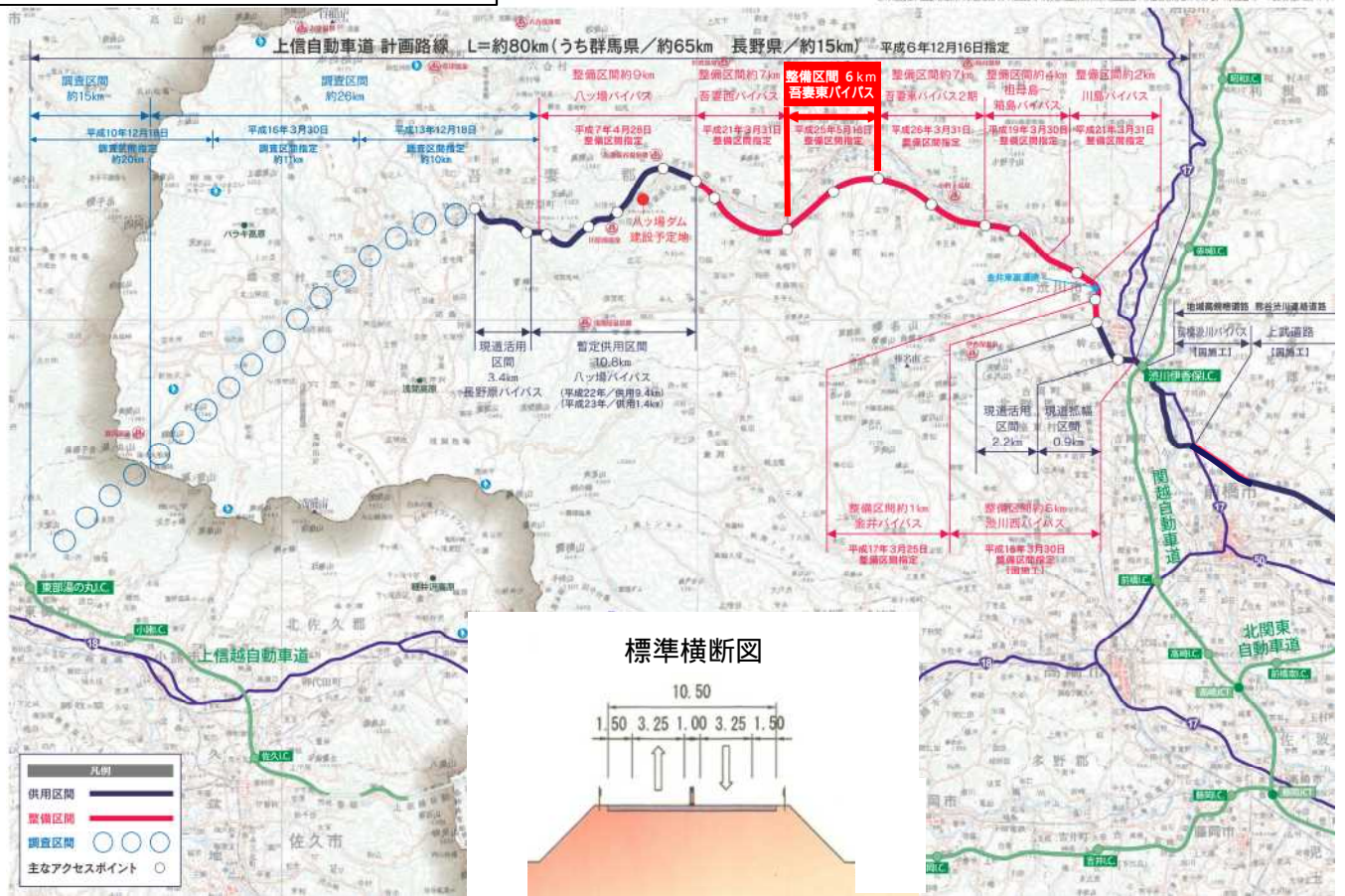
年度	主な経緯
H25	事業着手
H28	用地測量着手

#### 進捗状況

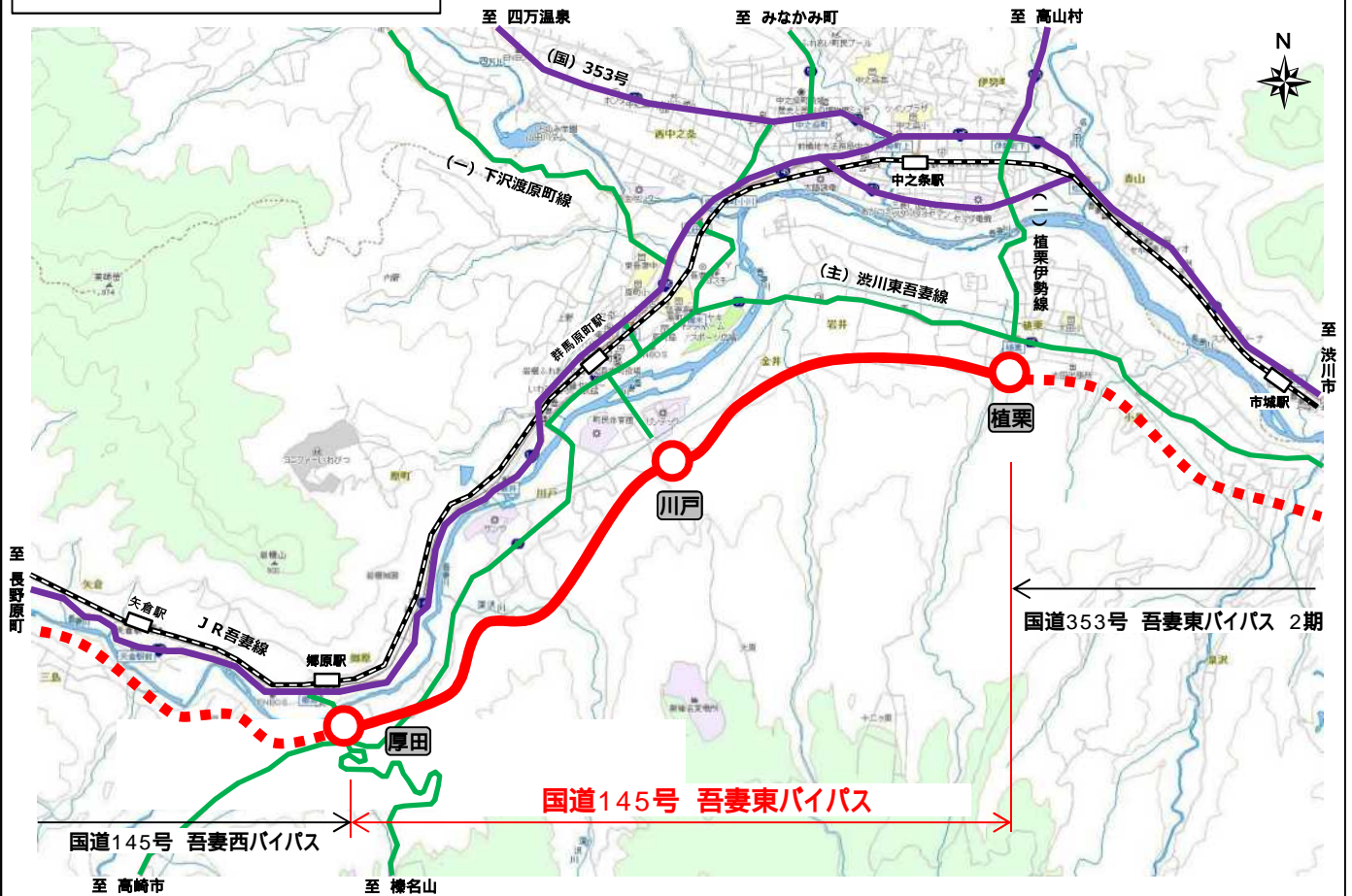
	全体計画	前回評価時の進捗状況(進捗率)	前年度までの進捗状況(進捗率)
事業費	9,600百万円	/	962百万円 (10.0%)
用地買収	325,995㎡		0㎡ (0.0%)
計画延長	6,400m		0m (0.0%)

## 2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)

### 地域高規格道路「上信自動車道」



### 吾妻東バイパス概要



### 3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

吾妻地域と県央地域間の移動時間は改善されておらず、地域高規格道路の整備により、物流・観光等の地域間交流の拡大による地域経済の活性化や、医療施設への患者搬送時間短縮が望まれおり、事業の目的・必要性に変化はない。

(主) 渋川東吾妻線(東吾妻町岩井)では、槻木交差点を中心に渋滞が発生しており、吾妻地域の活性化には交通混雑の解消が急務である状況に変化はない。

(主) 渋川東吾妻線 交通量調査結果 東吾妻町岩井付近(H27センサ)  
 交通量: 11,541台/日 混雑度: 1.46( )

混雑度1.0以上が渋滞

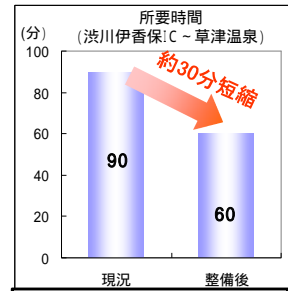


槻木交差点渋滞状況  
L=350m(H24.9.6)

(主) 渋川東吾妻線の渋滞状況



周産期医療機関への1時間圏域



渋川伊香保IC～草津温泉  
アクセス時間

### 4. 目的を達成するための事業(手段)は適切か？

本バイパスは上信自動車道の一部として整備しており、高速道路網が未整備である吾妻地域のアクセス向上には欠かせない道路であり、一連区間として整備することにより、吾妻地域の活性化に大きな効果が期待できる。

中之条町及び東吾妻町町内の慢性的な渋滞を解消するには、市街地を迂回する交通の分散が図られるバイパス整備が有効である。

このため、目的を達成するための手段として適当である。

### 費用便益分析

単位: 千円

		計 画 時 (H24)		今 回 再 評 価 時		備 考	便 益 説 明
算 出 根 拠 マ ニ ュ ア ル		費用便益分析マニュアル 国土交通省 道路局・都市・地域整備局 平成20年11月		費用便益分析マニュアル 国土交通省 道路局・都市・地域整備局 平成20年11月			
基 準 年		平成24年		平成29年			
区 分	項 目	現 在 価 値	構 成 比	現 在 価 値	構 成 比		
費 用 (千円)	工 事 費	6,605,000	93.9%	7,726,000	91.4%		
	維 持 管 理 費	431,000	6.1%	725,000	8.6%		
費 用 合 計 ( C )		7,036,000		8,451,000			
便 益 (千円)	走 行 時 間 短 縮 便 益	11,281,000	72.1 %	15,815,000	74.5%	ネットワークの追加 (吾妻東バイパス 2期)	
	交 通 事 故 減 少 便 益	1,656,000	10.6%	2,396,000	11.3%		
	走 行 経 費 減 少 便 益	2,706,000	17.3%	3,014,000	14.2%		
便 益 合 計 ( B )		15,643,000		21,225,000			
費 用 対 効 果 分 析 ( B / C )		2.22		2.51			

## 5. 事業が長期間要している理由は？

【元々が長期計画

不測の事態により長期化】

### 【元々が長期計画の理由】

インターチェンジごとに開通目標を設定して計画的に事業を推進しているが、事業延長L = 6.4 km、全体事業費96億円と事業規模が大きく、地元調整、用地取得、埋蔵文化財調査及び工事完成までに長期間を要する計画となっている。

### 【不測の事態により長期化した理由】

バイパス建設により影響を受ける既存の生活道路や用水路等が多数あり、これら施設の機能を確保するため、継続的な調査(利用状況の聞き取りや水源の調査など)を行う必要が生じた。

こうした調査や調査結果を踏まえた施設計画について地域住民との合意形成に約3年の不測の期間を要したことから、開通が約3年遅れる見込みである。

## 6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

国道145号吾妻東バイパスは、「上信自動車道」の一部として、吾妻地域から関越自動車道等へのアクセス向上により、観光誘客や物流の効率化による地域経済の活性化や医療施設への搬送時間の短縮等を図るために事業実施するものである。

また、ハッ場ダム周辺地域の生活再建にとっても欠かせない道路となっている。

国道145号、(主)渋川東吾妻線のほか中之条町市街地周辺では、依然として渋滞が発生しているなど、吾妻地域と県央地域間の移動時間の短縮が図られておらず、吾妻地域の地域経済の活性化に資する上信自動車道の整備が急務である状況に変化はない。

事業規模が大きく地域への影響が大きいことから、地元市町村や地域住民との合意形成に多くの期間を要したことから、開通時期が3年遅れ平成36年度となる見込みである。

また、計画地は狭い道路しかないので、工事中進入路を配置するなど、効率的な施工が可能となるような施工計画の検討を進めており、用地取得も施工計画を踏まえて行い、早期に工事着手できるよう努める。

なお、平成29年度に上信自動車道建設事務所を増設し体制の強化を図ったところであり、引き続き地元関係者や地域住民と円滑かつ丁寧な協議を進め、遅れが最小限となるよう取り組む予定である。

以上から本事業の必要性、重要性は高く、事業を継続実施し、早期に効果発現を図ることが適切であると考えます。